

ドライブベルトの交換時期って？

更新日：2018年6月30日

こんにちは。

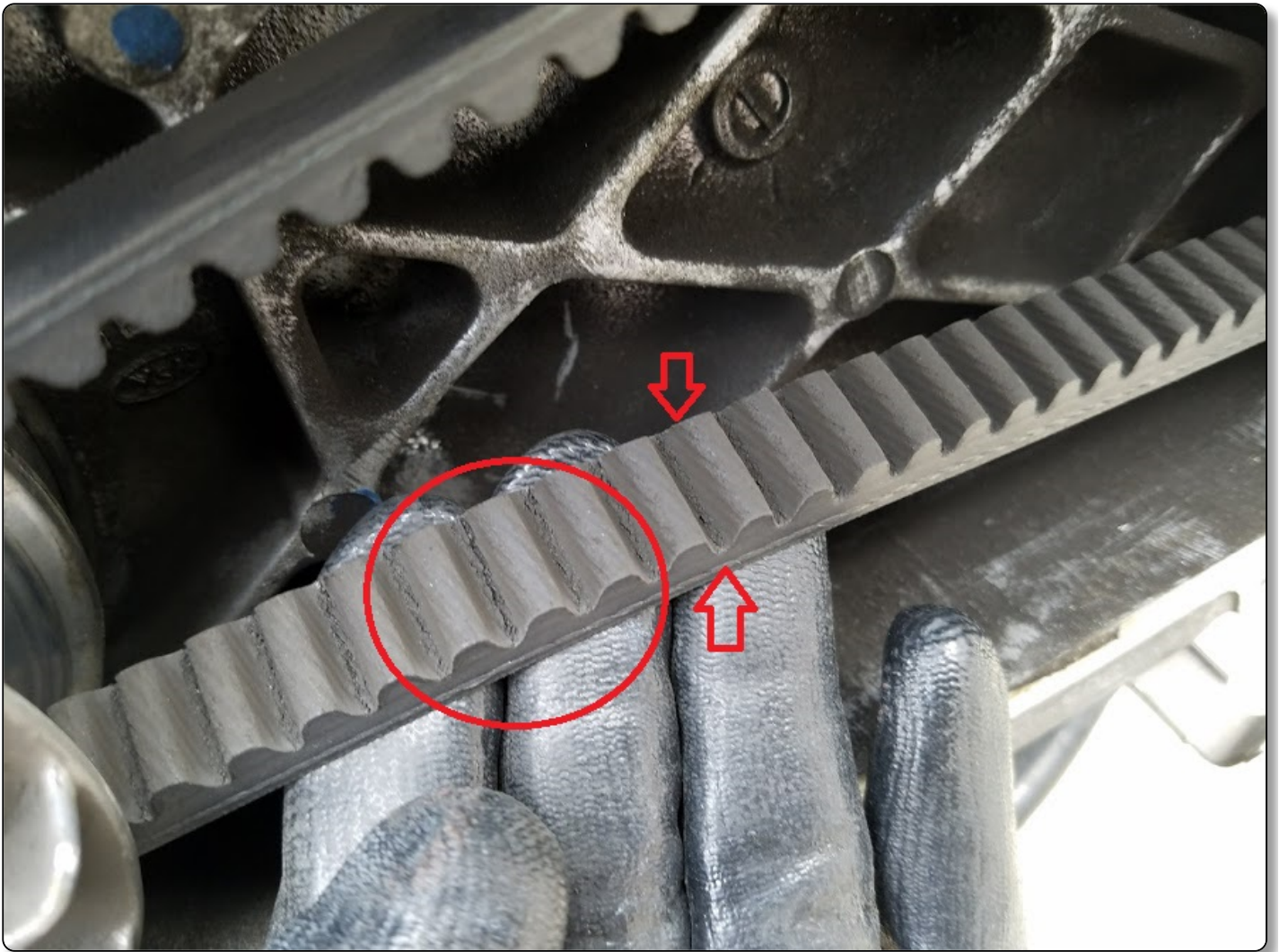
AT-1群馬自販ロードサービスの近藤です。

こここのところ暖かい日が増えてきて、いままで冬眠していたスクーターを動かし始める方が増えてきていますね～

毎年この時期になるとよく質問されることなのですが、スクーターのドライブベルト（Vベルト）ってどんなタイミングで交換したらよいのか聞かれることが多いです。

新車から乗っていて定期的にベルトの交換をしている方ならほとんど心配なないのですが、中古で買ったか知り人から譲ってもらったスクーターはいつベルトの交換を行ったのかよくわからないことが多いので、ベルトの交換時期を探るには直接ベルトの確認をするのが確実です。

スクーターのドライブベルトは車体の左側にあるキックスターターのカバーを外すとベルトが目視出来ます。



ドライブベルトの交換時期

まず、ベルトの溝にヒビが見えていたらすでに交換時期と思ったほうが良いです。

ドライブベルトは純正以外の社外品も多数出ているのですが、どこのメーカーでも8000キロから10000キロに1回は交換を推奨しています。

で、写真のようなひび割れは1万キロくらいではあまり見られないため、写真のベルトは軽く1万キロ以上はベルトを交換していないと思われます。

それからベルトの「幅」も交換する目安があります。

スクーターのベルトはプーリーに挟まれるようにして駆動力を伝えるため、ベルトの左右は常に摩耗しています。

上の写真の赤い矢印のあたりですね。

摩耗が進んでくるとベルトが細くなってくるため新品時と比較すると加速が悪くなったり、出しちゃダメだけど最高速が落ちてきます。

それから坂道の登りもかなり遅くなってきます。

こうした状況から、ベルトの目視をしたときにベルトの溝にヒビがあれば、早めに交換しておいたほうが良いということになります。

ヒビが進行してしまうと走行中にベルトの破断が起こります。

スクーターのドライブベルトは自転車のチェーンと同じ役目なので、切れてしまうと駆動力が伝わらなくなり走行できなくなってしまいます。

工具がなかったり、カバーの外し方がわからなかったりで、ドライブベルトの目視が出来ない場合は、予防も含めて切れる前に交換しておくのが良いと思います。

ドライブベルトは切れる前であれば比較的短時間で交換できますが、ベルトが切れた状態で交換する場合は異物の除去をしたり清掃したりで時間がかかるため、交換工賃もちょっと高くなったりします。

これから暖かくなって通勤や通学で毎日使う方は、一度ドライブベルトの状況を確認しておくのがいいですね。

当店では出張でドライブベルトの点検や交換が出来ますので、ドライブベルトで困ったことがありましたら一度ご相談ください。

ロードサービス運営会社

AT-1群馬自販ロードサービスは群馬・埼玉・栃木・軽井沢を対応エリアとした原付スクーター・ビッグスクーター・ビジネスバイクのロードサービスを行っております。

出張修理やサービス内容に関しましてご相談・ご質問等ございました時は下記までお問い合わせください。

【運営会社】

AT-1群馬自販ロードサービス

(AT-1群馬自動車販売)

【藤岡鮎川ベース】

〒375-0042

群馬県藤岡市鮎川802-1

代表者：近藤功（こんどういさお）

困った時はお電話ください

[0120-789-810](tel:0120-789-810)

急ぎの時は近藤携帯へどうぞ

[090-9153-4198](tel:090-9153-4198)

【当店HP】

<https://sos-50cc.xyz/>

■■■お願い■■■

当ブログを参考として、ご自身で行うための作業方法やトラブル解消方法をお問い合わせ頂いてもお答えできませんので、当店ご利用予定のない方のお問い合わせはご遠慮くださいますようお願いいたします。

当ブログの内容と同様の作業をお客様ご自身で行った結果、作業箇所の不具合・故障・破損等が発生したり事故等が発生した場合でも当店は一切責任を負いませんので、ご自身による作業はご自身の責任と理解をしたうえで十分注意して行ってください。

また、作業に自信がない方や適切な工具がない方は事故やトラブルに繋がりますので、ご自身での作業は行わないでください。